

広報

# あかいけ

# 3

さて問題です。

これは何という山ですか？

## 考えよう！ゴミのこと

「ゴミのポイ捨て」不法投棄は犯罪です。いま私達のモラルが問われています。「ゴミ」は大切な「資源」。循環型社会の主人公はあなたです。

### もうすぐ始まる家電リサイクル法

4月1日から冷蔵庫・テレビ・洗濯機・エアコンの処分には  
収集・運搬料とリサイクル料金が必要になります。

昨年の「町内一斉清掃」では、トラック52台分約2.7トンのゴミが回収されました。

「ポイ捨て」で一番多いのが「空き缶」。軽い気持ちで捨てているのですが、これは立派な「不法投棄」なのです。

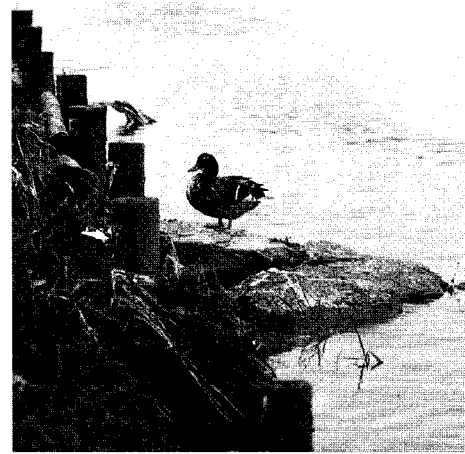




# 泣川が叫んでいる……



◆彦山川ではアイガモが生息している。日頃から河川敷の清掃活動を行ってくださる「ひこさんがわ夢の会」や地域ボランティアのみなさんのおかげで、気持ちよく川を泳ぐことができる。



## 現

在、町内では、行政や地区公民館連合会主催の町内一斉清掃が年二回行われています。「毎年毎年ゴミは増えていくばかり。きれいにする人はいつも同じ。捨てる人も同じじゃないの？」そんな住民の方の声を耳にしました。まさにそのとおりだと思います。捨てる人は処理する人の事など考えていません。また、処理する人はゴミを捨てる様な事はしないでしよう……。

地域や団体でもたくさんボランティアのみなさんが清掃活動を行っています。駅や道路、河川敷や公園がキレイなのもみなさんのおかげ。

子どもや孫たちに、またその子どもたちに、豊かな自然を残していくためには、ゴミを大切な資源として考え、循環させていくことが必要です。そこで、二十一世紀に求められるのが「循環型社会」です。では、「循環型社会」とは、どのような社会なのでしょうか？

まず「ゴミを出さない社会」。ものを大切に長く使う社会です。生産者側も長く使える商品の開発を進めています。

次に「資源を大切に社会」。出たゴミは再利用。再利用できなければリサイクル。最後まで循環資源を有効に使い、ゴミを減らしていく社会です。

そして「ゴミをきちんと処理する社会」。どうしてもリサイクルできないゴミも出てきます。これは、きちんと処分していくことが大切です。以上、三つのように「循環型社会」とは、ゴミを循環資源として利用していく社会なのです。

赤池町の豊かな自然を守るために。このかけがえのない故郷を未来に引き継ぐために。何より私達の暮らしのために。新しい豊かさをつくりましょう！。キーワードは「循環型社会」。その真ん中に私達一人ひとりがいます。主人公はあなた。身近で出来ることから始めていきましょう。

そのような活動がなければ、町はいずれゴミに埋もれてしまうのかもしれない。

いま、地区公民館連合会では「不法投棄を撲滅しよう」という動きがあります。町全体が「不法投棄を許さない」という姿勢であれば、必ず不法投棄はなくなっていくのです。「不法投棄は懲役一年以下、三百万円以下の罰金」と、法律にあります。簡単に考えている「ゴミのポイ捨て」でしょうが、これは立派な犯罪です。捨てる人がいる限りゴミはなくなりませんが、反対に、捨てる人が一人でも多くきれいにする立場になれば、

確実にゴミは減っていきます。増加する一方のゴミ。二十一世紀は、家庭・地域・町・そしてこの日本という国それぞれが、ゴミについて本気で考えなければならぬ危機的な状況になってきました。

## 求められる循環型社会

二十世紀。それは、たくさん便利なものが生まれた時代でした。たくさんのおものに囲まれ、豊かな生活をしてきた私達。大量生産と大量消費の時代でもありました。その「使い捨ての時代」の代償が「大量のゴミ問題」なのです。

◆赤池町の母なる川「彦山川」。町の歴史や文化はこの川に育まれてきた。しかし、この川にもゴミが捨てられている。責任や義務感のない人が美しい景観を汚すのには絶えられない。私達住民が「不法投棄を許さない」という強い気持ちを持てば、ゴミが捨てられない雰囲気や環境をつくるのではないだろうか。

◆清掃活動中に、アイガモの親子が寄ってきた。私達は川に生息する動植物たちのためにも河川環境を保護していかなければならない。



◆捨てられた雪の山。付近にも「ゴミを燃やした後がある。人間としてのモラルが問われる光景だ。」



◆河川敷の「ゴミを軽トラックに積む」「ひこさんがわ夢の会」の皆さん。毎月第二土曜日に清掃活動を行っている。



# 4月から「家電リサイクル法」がスタートします。

使わなくなった家電製品 **エアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機**  
リサイクル料と収集運搬料が必要になります。

を引き取ってもらう時に、

## 家電リサイクル法ってナニ？

一般家庭から出される家電製品は、約8割が小売業者によって、約2割は直接市町村によって回収されています。その後は直接埋め立てられるか、破碎処理され、一部金属の回収が行われるものの、そのほとんどがゴミとして捨てられているのが現状です。

日本での一般廃棄物のリサイクル率は10%と、とても低い数字。今のペースのまま、廃棄物の埋め立て処理を行った場合、全国の処理場は、あと8、5年しかもたないといわれています。



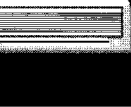
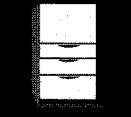
21世紀の環境を守るためには、廃棄される家電製品の適正な処置と、そこから生まれる資源の有効利用を図らなければなりません。4月1日からスタートする「家電リサイクル法」(特定家庭用機器再商品化法)は、生活環境の保全と経済の発展を目的に、リサイクル体制の整備を進めていく制度なのです。

## 消費者がリサイクル料と収集運搬料を負担

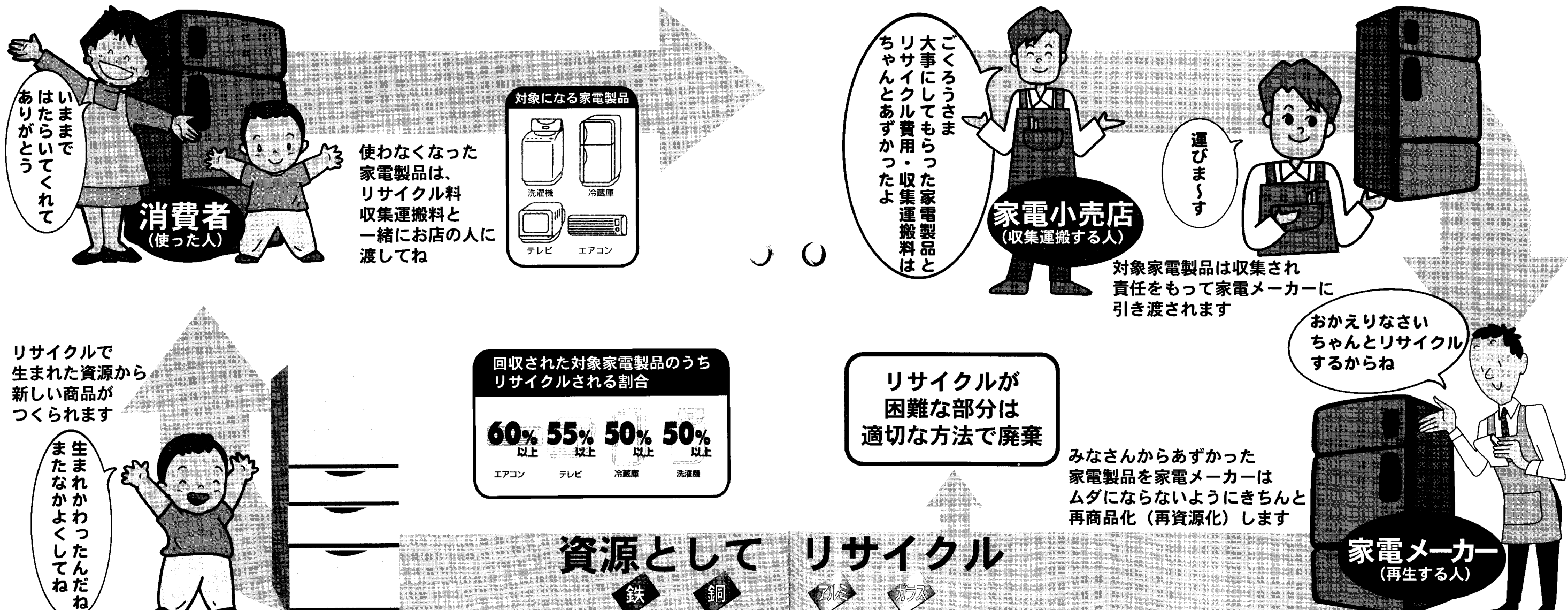
家電リサイクル法では、消費者・小売業者・製造業者が役割分担しそれぞれの立場からリサイクルに協力することになります。

消費者は、対象家電製品を小売業者に引き渡す際に、収集運搬料と製造業者のリサイクル料を負担します。料金は製品ごとに右の表のとおり設定されています。収集運搬料などは小売店の店頭や電話で照会でき、あらかじめ知ることができます。なお、この他の確定していないサービスについては、決まり次第随時お知らせします。

問い合わせ先 役場健康衛生係 TEL 28-2004 (内線145)

家電4品目	リサイクル料金
	洗濯機 2400円
	テレビ 2700円
	エアコン 3500円
	冷蔵庫 4600円

+収集・運搬料



# まちの話題

赤池梨

## ●十二支所防災訓練

もしもに備え地域で学習  
十二支所公民館の防災訓練が一月二十八日に行われました。  
田川地区消防本部の指導で、約三十人の参加者は防災や初期消火の方法について学びました。



消防器の使い方も学びました

## ●青少年健全育成田川地区大会・わたしの主張

柴田伊知子さんが町を代表し力強く主張  
二月三日に大任町レインボーホールで青少年健全育成田川地区大会「わたしの主張大会」が開催されました。  
田川市郡の各代表十一人が、日頃思っていることや感じたことを力強く主張しました。  
赤池町からは上野小六年の柴田伊知子さんが「私を変えた二つの出会い」を発表。落ち着いた大きな声での主張に聴衆は大きな拍手を送りました。



川崎町立池尻小学校 柴田伊知子さんの主張



みんなの好きなトランプを大合唱

## ●市場保育所コンサート

アンダンテの演奏で大好きな曲を大合唱  
市場保育所父母の会主催のコンサートが一月十七日に行われました。  
この日、演奏や歌を披露したのは、神野寿美恵さんをはじめとする五人のグループ「アンダンテ」の皆さん。  
子ども向けの十六曲のなかでも特に「ドラえもん」と「サザエさん」が大人気でした。参加した約五十人の親子は、体を左右に振りながら、おなじみの曲を楽しそうに歌っていました。

## ●チャレンジする店主の皆さん

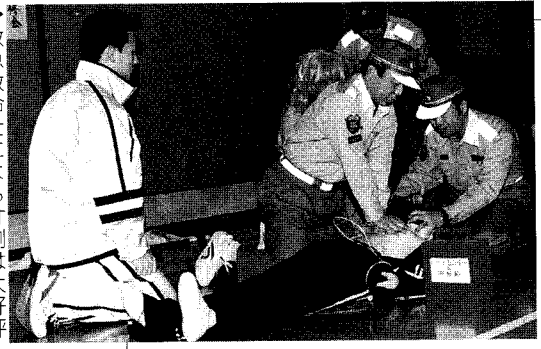


## ●お買い物らくらく便

七店舗のネットワーク電話一本で配達します  
町内の商店七店舗が、二月に「お買い物らくらく便」を立ち上げました。  
「お買い物らくらく便」とは、七店舗の各商品をご家庭に無料で配達するシステム。例えば、薬と一緒に商品が欲しい時は、一度に商品がお手元に届くという便利なものです。  
お知らせのチラシは、毎月一日に新聞広告する予定。みなさんお気軽にご利用ください。お問い合わせは、赤池町商工会 Ⅷ(28)5055まで。

## ●心肺蘇生法講習会

医師の指導で心肺蘇生法を学ぶ  
二月三日に中学校体育館で麻生飯塚病院の鮎川勝彦救急部長をはじめ医師・看護婦や筑豊地域救急センターの救命救急士による心肺蘇生法講習会がPTA主催で行われました。医師が指導する心肺蘇生講習は、郡内では初めての取り組みです。  
保護者・教職員・町内保育所職員たち約六十人が参加。蘇生訓練用の人形を使った実技では真剣な表情で指導を受けていました。



救急救命士による寸劇は大好評

## ●小学校体験入学

一年生が手を引いてやさしく学校案内  
新一年生の体験入学が上野小で二月十二日に、市場小で二月二十日に行われました。  
上野小学校では各班に分かれ、現在一年生の児童が先導し、校内を説明しました。両校とも歓迎のレクリエーションなどを行い、楽しい学校訪問になりました。  
春には町内で一〇五人がピカピカの一年生になる予定。ドキドキ、ワクワクの入学式は、両校とも四月七日に行われます。



教室ってなんだか楽しそう!

## ●水と緑のキャンペーン

六百歳の「虎尾桜」を樹木医が応急処置  
町指定文化財「虎尾桜」が、KBCテレビの水と緑のキャンペーンで選ばれ、二月四日に樹木医の治療を受けました。  
樹木医と虎尾桜を心配する世話人会を中心に、枯枝切り、肥料投入、周辺整備などを行い、推定樹齢六百年の桜の巨木が、少し元気になりました。  
隔年で満開になる虎尾桜。残念ながら今年には花が少ない年ですが、雄大な姿は一見の価値あり。是非、ご覧ください。



大きな幹を樹木医が手当します

## ●楽しいお話に引き込まれました



この瞬間を大切に  
講師 熊丸みつ子先生

## ●保育所父母の会議講演会

子育て真っ最中の父さん母さん六十人が参加  
四保育所父母の会主催の講演会が、二月十日に町民会館で行われました。  
「いま、この瞬間を大切に」という演題で「幼児期の子は、いけないことでも何でもやりたがるけど、それは決して無駄なことではなく、その子の財産になっていく」と話した熊丸みつ子先生。  
体験談を交えたお話に、子育て真っ最中のお父さんお母さん六十人は、大きくうなずき、自信と元気を分けてもらいました。

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13
土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火
		三種混合	住民健康相談	心配ごと相談	川下りイベント							乳児健診		小学校卒業式 心配ごと相談		中学校卒業式 親子であそび教室	母子手帳交付制 度説明会	健康相談

あかいけ  
●3月行事予定表●  
カレンダー